

「ベスト・シーニックバイウェイ・プロジェクト2013」



シーニックバイウェイ北海道推進協議会では、平成20年度よりシーニックバイウェイ北海道の推進に向けて、他の模範となり、将来への発展性が高く評価できるルート活動を選出し表彰する「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト」の取り組みを実施しています。本年より、「美しい景観づくり賞」「活力ある地域づくり賞」「魅力ある観光空間づくり賞」の3つの部門賞と活動団体の投票による活動団体賞を設け、部門賞を対象に総合的な視点で最優秀賞を決定しています。「ベスト・シーニックバイウェイプロジェクト2013」の受賞活動をご紹介します。

■シーニックバイウェイ北海道推進協議会
http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyokaiz_doro/sbh/
 ■シーニックバイウェイ北海道 <http://www.scenicbyway.jp/>



最優秀賞

地域
部門賞

タカラムノプロジェクト(支笏洞爺ニセコルート)

「支笏湖や洞爺湖で駆逐されているウチダザリガニを食べられないか?」という何気ない一言がきっかけでした。その後、色々な議論や試行錯誤を経て、最終的に落ち着いたのが、捨てられているものや見向きもされなかったものに「光」をあてて「地域の宝物」として再活用しようという思い。単なる「体験」や「交流」にとどまらず、これまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに「光」をあて、「新たな付加価値」をつけようという取り組みです。イタドリを活用したメニューを開発し、ホテルやカフェでの提供をはじめ、隠れた資源を発掘しそれらを選るモニターツアーを実施するなど、継続的な取組を行っています。

ムカゴ料理 ▶



▲ 郷土料理体験

ほっちやれヒメマスの産卵体験 ▶



▲ 告知チラシ

活動
部門賞観光
部門賞

地域情報発信プロジェクト(萌える天北オロロンルート)

萌えらしい地域資源である「花鳥国月」のテーマで、遊び心満載の萌か留たを作りしました。作成した萌か留たは、管内のお土産品等に添付して配布し、全管内市町村をめぐることで一式揃うという、一種の遊び感覚で周遊観光の向上をねらいました。現在、商品化を目指し、開発中です。

← かるた製図(右)
萌か留た(中)
花札(左)萌か留たを
紹介するPOP ▶

ガードレールの雪かきボランティア

冬の凍氷景観はかけがえのない資源。しかし除雪の雪壁で車窓からは見えない。では、除雪しよう! ということで斜里町ワトロでは、ボランティア約130人によるガードレール除雪を平成19年から実施しています。冬期観光振興と地元の協働意識高揚の観点から、今後も着実に継続していきたいと考えております。



▲ 除雪作業中の状況



▲ 除雪後の状況

映画ロケ地などを活用した誘客事業

礼文、利尻、稚内、豊富の観光協会・商工会・行政が連携し、映画「北のカナリアたち」のロケ地となった北宗谷への誘客を目的として、観光ニーズ把握・モニターツアーによる観光ルートの検証等を行いました。今後は、着地型ツアーの確立やファンクラブの設立等によりさらなる誘客と地域活性化を目指します。



▲ ロケ地を中心としたモニターツアー



▶ 無料チラシ

▼ 観光客への関心取り調査・北宗谷の景

■ 映画「北のカナリアたち」のロケ地を
北宗谷からロケ地観光